

移動等円滑化取組計画書

2024年6月25日

住 所 東京都調布市仙川町二丁目19番地5
事業者名 小田急バス株式会社
代表者名(役職名及び氏名) 取締役社長
早川 弘之

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

- 当社が保有する乗合バス車両においては、既に全車両がノンステップバスとしております。今後も車両更新に合わせてノンステップバスを導入していきます。

(2) 役務の提供、旅客支援、情報提供、教育訓練等、広報・啓発に関する事項

- 当社では、音声による停留所でのご案内や、車両のカラー方向幕の導入を順次進めています。高齢者、障害のあるお客さまが安心してご利用いただくために必要となる情報提供ツールの導入を引き続き促進していきます。
- お客様より乗降に対する運転士のサポートが不足しているとのご意見が寄せられることがあるため、特に新人運転士に対して、おもてなしの心の醸成とスムーズで安全な乗降サポート方法等の教育・訓練を引き続き実施していきます。
- 高齢者、障害のあるお客さまが安全に安心してご乗車いただけるよう、音声、表示案内を活用して、広報活動および啓発活動を引き続き実施していきます。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス	・ 既に全車両がノンステップバスであるため、今後も車両更新に合わせてノンステップバスを継続導入していきます。 (2024年度)

② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
設備を用いた情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 「運行情報提供システム」を使用して、文字および音声による運行情報を継続して確実に提供していきます。 (2024年度)
設備の定期点検	<ul style="list-style-type: none"> 車両車いす乗降設備、バス停留所案内設備等、各設備について定期的な点検を実施していきます。(2024年度)

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バス停における乗り降りのしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障害のあるお客さまが安心して乗降できるように既存のガードパイプの切り開きやベンチ位置調整等の改修を拡充していきます。(2024年度)

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
車内外における情報提供の拡充	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンなどからの検索により、バスの到着時間等が確認できる【小田急路線バスナビ】による情報提供を引き続き実施していきます。(2024年度)

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員の技術向上	<ul style="list-style-type: none"> 新入運転士に対して、高齢者、障害のあるお客さまへの乗降支援に関するおもてなし・技術向上教育を実施していきます。 (2024年度：入社時、6か月後)

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
安心してご利用いただくための適切な音声案内、表示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障害のあるお客さま等が安全に安心してご乗車いただけるよう、音声・表示案内を活用して、広報活動および啓発活動を継続して実施していきます。(2024年度)

III 移動等円滑化の促進のためIIと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社が管理する停留所へのベンチの設置を拡充していきます。 ・ ホームページや電話等で寄せられるお客さまからのご意見・ご要望を社内で共有するとともに、お客さまのニーズを把握し、改善策に反映していきます。 ・ 運行に関し変更や休止を計画した際のお客さまへの周知のため、引き続き当社公式X（旧ツイッター）などを活用していきます。 ・ 沿線各自治体が主催する「バリアフリー推進協議会等」に出席し、積極的な意見交換を実施していきます。

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

V 計画書の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画書について、当社ホームページにて公表いたします。

VI その他計画に関連する事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期的な対応方針に記載された事項については、当社の中期経営計画に位置付けられております。
--

- 注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。
- 2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。
- 3 VIには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。